



古志原小学校だより

えがおいっぱい

令和6年度No.15

12月18日

(文責 校長 小林 敏朗)

12月に入り、随分と寒い日が続いています。島根県内や松江市内でもインフルエンザの流行による学級閉鎖の情報が少しずつ入ってきました。本校でも少しずつ増えてきているかなという感じです。2学期も残りわずかです。元気に終業式の日を迎え、楽しい冬休みを過ごしたいものです。

さて、学校だよりNo.10でもお伝えしましたが、こどもたちの委員会活動の中に生活委員会があります。その生活委員会では「ろうかを歩こう運動」に取り組んでいます。その活動の中で、11月20日(水)のお昼の放送時に次のような校内放送を行いました。

生活委員会です。今日は「ろうかを歩こう運動」の結果をお伝えします。ろうかを歩こう運動を始めて3か月ということもあり、歩こうとする人が増えました。でも、まだ左側を走っている人がいました。走っている人にインタビューをしてみると「楽しいから。」と言っていました。とても悲しいことだと思います。古志原小学校のほとんどの人が守っています。みんなでいい学校を目指していきましょう。

ここ数年、ろうかの歩行については本校の学校生活上の課題の一つでしたが、生活委員会のこどもが言うように、少しずつですが廊下を歩いている児童は増えてきました。様子を見ていますと、意識して歩こう歩こうとしているように感じます。こどもたちがこどもたち自身でろうかを歩こうとか、課題を改善しようとする動き、学校全体をよりよくしようとする活動はとてもうれしいですし、しっかりと結果として見えてきているように感じます。今後も、こどもたちが学校全体をみつめ、自分たちで自治していく力を育てていきたいと考えています。

幼稚園・保育園と小学校のつながりを考えて…

11月26日(火)のお昼、古志原幼稚園の年長さんたちに小学校(第一家庭科室)に来てもらい、給食試食会を行いました。小学校の給食時間帯よりも早く来てもらい、まずは給食の準備、盛り付けや配膳を行いました(これは幼稚園の先生方にお世話になりました)。その後、本校の角栄養教諭から、給食の献立のこと、栄養面のこと、食べ物の好き嫌いのこと等のお話を聞きました。お話を聞く態度や姿勢がとてもよく、静かに聞くことができていましたし、よく聞いているから返事や反応をすることもできていました。そして、いよいよ試食です。みんなで「いただきます。」を言って給食をいただきました。当日は「豚肉の甘酢あんかけ」や「ほうれん草ののりマヨ和え」など、こどもたちが比較的好みそうな(?)献立で「おいしい、おいしい」と言いながらしっかりと食べていました。そして食べ終えた後の片付けも上手にできていました。また11月15日(金)には、なかよし保育園のこどもたちが校庭にやってきて、校庭にある遊具で遊びました。当日は天気もよく、しっかりと体を動かしながら遊具あそびをすることができました。



本校は、毎年30以上の幼稚園や保育園からのこどもたちが新1年生として入学しています。それらすべての幼稚園・保育園と交流することはなかなか難しいのが実態です。今後も少しずつではありますが、幼稚園・保育園と小学校とのつながりを模索しながら取り組んでいきたいと考えています。3学期に予定している計画があります。今回の活動も、3学期の活動も幼稚園・保育園と小学校との接続をスムーズにする取り組みになるといいなと思っています。

第2回学校運営協議会から…

11月19日(火)の午後、今年度第2回の学校運営協議会を行いました。この学校運営協議会は「学校・家庭・地域の『連携』から、さらに充実・発展させてともに『協働』していくことで、その地域のこどもたちの健全育成をめざしていく」取り組みです。この会には、古志原地区青少年育成協議会の勝部会長様、古志原公民館の松本館長様、民生児童委員協議会主任児童委員の岡田様、本校PTA副会長の山田様にお出かけいただきました。最初に授業やこどもたちの様子を見ていただき、その後意見交換を行いました。授業を見ていただいている間も意見交換の時間でも、1学期同様授業中こどもたちが静かに落ち着いて学習に取り組んでいること、ノートに書いたり考えたり集中して学習していることなどが話題になりました。意見交換では、相談室を利用している児童には一人一人に対応した支援をしてほしいこと、副教材(例えばテストやドリルなど)の値段が高くなることによる保護者負担のこと、携帯電話に関わるトラブルのこと、ローテーション道德や教科担任制のこと、教員不足の影響などが話題になりました。また、いじめの重大事態の対応について、いじめられた児童や保護者にしっかりと寄り添ってほしいこと、登校できるように学校として受け皿、サポート体制をつくること、しっかりと教職員研修に取り組んでほしいことなどがご意見として挙がりました。

この学校運営協議会でいただきました貴重なご意見を参考にしながら、今後もこどもたち一人一人にとって安全・安心な学校、しっかりと学力をつけていく学校を目指していきたいと考えています。



手づくり弁当の日&ふれあい広場

11月25日(月)は学校全体で「手づくり弁当の日」として取り組みました。こどもたちも教職員も手づくりの弁当を持参し、通常の給食時間にお弁当をいただきました。いつもの給食もおいしくいただいておりますが、手づくりのお弁当ですから格別においしかったことと思います。この手づくり弁当について6年生に聞いたところ「自分で全部つくりました。」「前日の日曜日夕方から準備をしておきました。」などの反応がありました。家庭科や学級活動を中心に栄養教諭がいろいろな学級で手づくり弁当に関わる授業をしていましたので、高学年になると自分で取り組む子も増えるのだらうなと思いました。弁当をつくることを通して、こどもたちはしっかりと食についての学びになっているのだらうなと思います。保護者の皆様には、お弁当の準備大変お世話になりました。ありがとうございました。

また、お弁当を食べた後には、1～6年生までの縦割り班活動「ふれあい広場」を行いました。6年生が考えて準備をしていた内容の遊び、例えば風船バレー、いす取りゲーム、伝言ゲームなど学年の枠を超えて楽しみました。時間の関係ですべての教室を回ることではできなかったのですが、私が見た教室はみんなが楽しそうでしたし、高学年の子が低学年の子の面倒をよく見ているなと思いました。こういう活動の中でも古志原っ子の面倒見のよさや年下の子に対する優しさを感じましたし、低学年や中学年からすると「高学年になったら…」というような憧れをもったりするのだらうなと思いました。これからも縦割り班の活動も大事な時間にしていきたいなと思います。



島根県学力調査から…

12月3日(火)に島根県学力調査が行われ、本校も5、6年生児童が国語と算数、意識調査に取り組みました。どの子も真剣に取り組んでいました。調査当日、何人かの欠席者があり、欠席した子は後日取り組みました。調査後に何人かのこどもたちと会話をしましたが、「国語は簡単だった。」「国語はたぶんできてい

と思う。」「算数は難しかった。」「算数は時間いっぱいかった。」という声が返ってきました。新聞報道によると、県学力調査は来年度から変更になるとのこと。来年度以降どのような形になるか具体的にはわかりませんが、調査そのものよりも、日々の学校での授業中の学習、日々の家庭学習をコツコツと継続して取り組んでほしいと思っています。併せて、この後の話題でも触れますが、我々教員が一人一人の力を伸ばす授業づくり、こどもたちが意欲的に学びに取り組む授業や活動を今後も継続して模索していきたいと考えています。



授業改善の取り組み…研究授業から

11月26日(火)に2年1組で生活科の研究授業、5年2組では国語科の研究授業をそれぞれに行いました。当日は、島根県立大学から2名の講師の先生をお招きし、本校の教員は半分に分かれて、それぞれの授業を見て、その後話し合いを行いました。

2年1組の生活科では、身近にある物を使い動くおもちゃを作ったり遊んだりする活動を通して、工夫したり面白さや不思議さに気づいたりする授業を行いました。こどもたちは動くおもちゃ作りに集中して取り組み、さらに工夫して作り変えていく姿、活動に没頭する姿(出雲弁でいうところの「のぼせる」感じです)がとても印象的でした。また、5年2組の国語では、物語「大造じいさんとがん」(保護者のみなさんが小学生だった頃も教科書に載っていたのでは?)を読み、その中にある情景描写を参考にして、例文をつくり変えていく学習を行いました。例えば「秋の日が美しく輝いて…」「雪のように清らかに、はらはらと散りました」というような情景描写を参考にしています。大人でもなかなか難しいのですが、こどもたちはいろいろな表現を駆使したり、班で話し合いをしたりしながら、しっかりと取り組むことができていました。

また12月5日(木)には松江市教育研究会小学校社会科部の授業研修会を本校の5年3組で行いました。「情報産業とわたしたちの暮らし」という単元で、情報が起こす影響について「送り手」と「受け手」のそれぞれの立場から考える授業でした。授業ではSNSからの情報を取り上げ、その情報によって報道被害や社会全体が混乱すること、情報が正しいかどうかを冷静に判断することの大切さについて学びました。

11月26日の授業後の話し合いでは、授業のよかったところや改善点などについて意見交換をしたり、どうすればよかったのかなどの話し合いをしたりしました。最後に、日々の自分の授業について振り返り、個人個人において授業改善に向けて考えました。先程の「島根県学力調査」のところにも書きましたが、我々教員一人一人がこどもたちの力を伸ばす授業づくりについて考え、これからは授業改善に取り組んでいきたいと考えています。3学期には、道徳の授業づくりについて考える機会を設ける予定です。

6年生から5年生へ…平和学習発表会

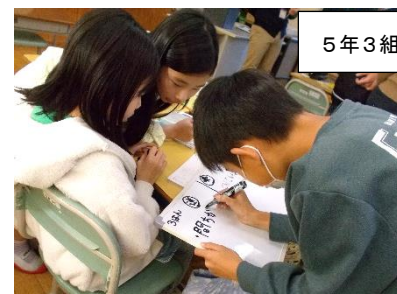
12月6日(金)の午後、英語ルームや音楽室を中心に、6年生がこれまで取り組んできた平和学習の成果を5年生に発表する会を行いました。6年生も5年生も4～5名程度のグループに分かれ、6年生が発表のブースをつくり、5年生はいろいろなブースを回る形での発表会でした。6年生は修学旅行後も平和についての学習をしたり、発表会に向けてタブレット PC でプレゼンを



2年1組生活科



5年2組国語科



5年3組社会科



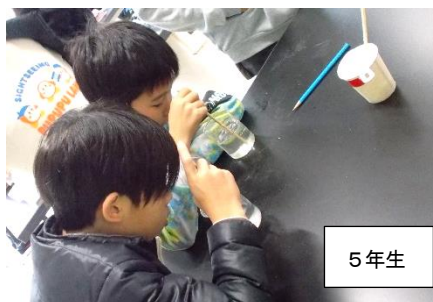
つくったり、紙芝居風にまとめたりしてきました。1学期から平和学習に取り組んできた6年生ですので、自信をもって発表できていましたし、戦争や原爆について学んだことにプラスして、平和についての自分の考え、意見もしっかりと発表することができました。また発表する6年生だけでなく、多くの発表を聞く5年生の態度もとても良かったです。中には、6年生の作ったプレゼンに食い入るように見ている5年生もいました。多くの5年生が、きっと来年度自分たちが学ぶことをイメージしながら聞いているのだらうなと思いました。



先日は、ノルウェーのオスロで日本原水爆被害者団体協議会にノーベル平和賞が授与されました。本校の6年生や5年生はもとより、みんなで戦争や原爆について、そして平和について考えていきたいですね。

こどもたちの学びの様子…理科の授業から

11月下旬あたりからでしょうか。いろいろな学級を回る中で、理科の実験や活動にとっても楽しそうに取り組んでいるこどもたちの姿が見られました。3年生は「音のせいしつ」の学習で、糸電話をつくってこどもたちが楽しんでいました。4年生は「物のあたためり方」の学習で、水に示温インクを混ぜて温まり方を観察していました。5年生は「物のとけ方」の学習で、水に食塩やミョウバンを入れ、かき混ぜながらとける様子を観察していました。6年生は「てこのはたらきとしくみ」の学習で、おもりをつけながら、どうすれば左右のうでがつりあうかについて取り組んでいました。どの学年でも、目を輝かせながら取り組む姿が印象的でした。



来年、3学期に向けて動き出しています



12月11日(水) 3年生は初めて大筆での書き初め練習に取り組みました。いつもの半紙とは違う大きな条幅用紙に緊張気味(?)に書いていました。



12月9日(月) 6年生は卒業アルバム用の写真撮影をしました。同日の朝、学年全体で卒業プロジェクトの話を聞きました。いよいよ、3月の卒業に向かう3学期になりそうです。

最後になりましたが、この1年も本校の教育活動にご理解・ご協力・ご支援をいただき、ありがとうございました。来年も引き続きよろしくお願いいたします。みなさま、よいお年をお迎えください。